

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年10月31日】第142号



入試事前面接 無事終了

10月28日(金)、入試事前面接が無事に終了しました。この期間中、子どもたちも廊下を静かに歩くことや、下校時に通路を静かに歩くことに協力してくれていました。もちろん、オンラインで面接をしながら、窓の外に走っていく音、にぎやかな声が聞こえてハラハラすることもありましたが、子どもたちなりに協力してくれたと考えています。11月1日(火)からは2023年度入学試験のため、子どもたちは休校となります。ご家族とゆっくり過ごす時間です。また、学期半ばですので、心身の休養をするのもよいでしょう。あるいは、苦手なところの復習をしたり、好きなことにじっくり取り組んだりするなど、それぞれに合った過ごし方をしてもらいたいと考えています。そして、教職員は2023年度入学試験の適正な実施に全力で取り組みます。

クリを頂きました

学校法人東京農業大学理事長の大澤貫寿先生から、農大稲花小の子どもたちにと、立派なクリをたくさんいただきました。2019年に本校が始まって以来、毎年、いただいているプレゼントです。大澤理事長のご出身は、クリの名産地茨城県です。そこで毎年、食育ミニ講座としてクリや産地の茨城県のお話を1年生の子どもたちにいただいています。今年も11月になったら、食育ミニ講座をお願いする予定です。

さて、いただいたクリを、どのように袋に入れて配布しようか、ちょっと考えていたところ、1年担当の先生から子どもたちが分けますとの声。1年生の子どもたちが慎重にたくさんのクリを分け、10個ずつ数えて2学年分の網袋に入れ、数をもう一度確認の上、網袋の口を結んでくれました。そのかわいい様子、皆様にもご想像いただけるでしょう。子どもたちはうれしくクリを家族に持ち帰りました。

収穫祭が開催

農大稲花小の子どもたちがいつも登下校で通らせていただく世田谷キャンパスでは、10月28日(金)から30日(日)に創立131年収穫祭が開催されました。テーマは「はばたく、農の力」です。事前申し込み制とはいえ、久しぶりの対面による学園祭が開催され、うれしい思いは学生さんや大学の教職員の皆様と同じです。

29日(金)は混雑を避けるため、キャンパス内を通過せずに下校させ、教職員がバス停まで誘導しました。中には、予約が取れて家族と共に収穫祭に参加した子どもたちもいました。収穫祭では、販売だけでなく文化学術展として各研究室や団体が日ごろの研究や活動の成果を発表しています。来年こそは、子どもたちを連れて収穫祭に参加し、稲花タイムでお世話になった研究室や校友会の部活動を見ることができたらと願っています。

靴紐を結ぶ

農大稲花小では3年生以上、靴のサイズが一定以上になると、運動靴は紐靴となります。この紐がきちんと結べない子が多いのが悩みでした。紐が結べていないのを注意しても、残念なことに走って逃げてグラウンドに遊びに行ってしまう子どもまでいたのです。しかし、まずご家庭のご協力で、紐の長さを結びやすく調節していただきました。また、学級での指導も改めて行われました。最近では、紐靴の紐がだらしなくほどけている子どもはごく少なくなりました。また、ほどけていることを知らせると、その場で隅に寄り、結びなおすことができるようになりました。靴紐がほどけていたり、服装がだらしなかったりするの、見た目が良くないだけでなく、安全でもありません。靴紐だけのことではありませんが、注意されてではなく、自分で気づいて正しい行動がとれる子どもを育てたいと考えています。

オーストラリア短期留学の準備

4年生を対象として来年3月に実施予定のオーストラリア短期留学。33名の児童から申し込みがあり、受け入れ団体であるオーストラリアクィーンズランド州教育庁担当者や現地小学校との連絡も始まりました。短期留学では、1. 状況に応じて、自らを律し、他と協調する力と態度(自律力)ほか、多くの能力を養う、2. 英語を使う楽しさを知る、そして3. 異文化に接し、多様性に満ちた世界があることを理解する、などを目指しています。子どもたちの希望、保護者の期待に応えられる短期留学となるよう、準備を進めてまいります。

SDGsとフードロス・アップサイクルを考える

10月28日(金)、4年生は全国農業協同組合中央会からご寄贈いただいた冊子「SDGs探求ブック」を持ち帰りました。入学試験による休校中にじっくり読んでSDGsについて考える機会としてもらいたいと思います。そして、11月になると、4年生は稲花タイムでオイシックス・ラ・大地より講師の方をお招きして、フードロス・アップサイクルについても学びます。4年生のご家庭のキッチンに取材にお伺いする企画もあります。保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。



全国農業協同組合中央会からご寄贈いただいた冊子「SDGs探求ブック」